

国立精神・神経医療研究センター病院にて 脳神経内科を受診された方へ

この度、国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科診療科で受診した際の診療情報等の一部について、他の研究機関で実施される下記研究に対し提供を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

この研究課題に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2017 年 4 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日までの間に、脳神経内科で L-ドパテストを受けた方

2. 試料情報を提供を行う研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: パーキンソン病患者における L-ドパ血中濃度と主観的な On/Off 認識の乖離: 客観的評価指標の探索と臨床的特徴の解明

研究期間: 研究開始日～2026 年 3 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者): 国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部 古川 晃大
(共同研究機関)

関東学院大学 研究責任者 近藤夕騎

3. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料: なし

情報等: 臨床データ (年齢, 性別, 疾患名, 罹病期間, Hoehn & Yahr stage, Mini-Mental State Examination: MMSE, Movement Disorder Society- Unified Parkinson's Disease Rating Scale: MDS-UPDRS, L-ドパテスト中の Rigidity, Standing(sec), Finger tapping, Toe tapping, Waliking time(sec), Gait freezing, Postural instability, Resting tremor, Dyskinesia, On-Off(+/-), Subjective others (患者主観的評価))・血液検査データ・動画データ (日常臨床の一環として実施していた検査結果を研究に利用します。また、動画データを使用する場合には、モザイク処理を施して個人を特定できないようにします。)

(取得方法) 診療録から入手

4. 試料・情報の利用目的及び利用方法

パーキンソン病患者様が感じる症状認識と実際の薬物動態との関係を明らかにすることを目的に、情報を利用します。データの個人情報の管理には万全を期し、対象者のプライバシーを守ることに十分注意を払います。個人を特定できる対象者情報は特定できない形式に記号化した番号により管理します。また匿名化番号はイニシャルを使用せず連番の付与等で匿名化を行います。研究上の対象者 ID は研究に参加した順番のみで規定し、この研究対象者 ID と個人情報との連結は鍵のかかるキャビネットに収納される書類にて保管します。共同研究機関（関東学院大学：近藤夕騎）に提供する場合、匿名化作業を行った後に、パスワード付き USB もしくは HDD に保存し、共同研究機関に手渡しで提供します。

5. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属：身体リハビリテーション部 氏名：古川晃太

電話番号：042-341-2711（内線：7005）

e-mail:kouta_furukawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）